

教科と日本語の統合学習

— 5年生 算数科・2年生 国語科の実践—

東京都板橋区立板橋第八小学校
衛藤 景太

お話しすること

0 1 自己紹介

0 2 本校の日本語学級について

0 3 事例紹介① 5年生 JSL算数科「単位量あたりの大きさ」

0 4 事例紹介② 2年生 JSL国語科「この人をしょうかいします」

自己紹介

- 東京都板橋区内の小学校
- 日本語指導歴 6 年目
- それまで言語教育の経験や知識なし



本校の日本語学級について

- ・ 児童約 4 5 名、教員 4 名
- ・ 自校通級と他校通級（近隣 1 5 校から）
- ・ 中国＞ネパール＞ベトナム・・・
- ・ 個別指導が基本、同学年の小集団も行う

事例紹介①

5年生 JSL算数科

「単位量あたりの大きさ」



授業の概要

令和4年10月

5年生 JSL算数科「単位量あたりの大きさ」（大日本図書）

児童の実態（個別）

- ・ 9月に転入、それまでの7ヶ月間は他区で日本語指導を受ける。
- ・ 文章題で問われていることを理解するためには支援が必要。
- ・ 技能面での計算はできるが、意味の理解が不十分。

⇒日本語で教科学習をし始めた段階

授業の概要

①算数科の目標（指導書）

混み具合などの比べ方を考え、単位量あたりの大きさの意味や表し方を理解し、それを用いることができる。

②日本語の目標

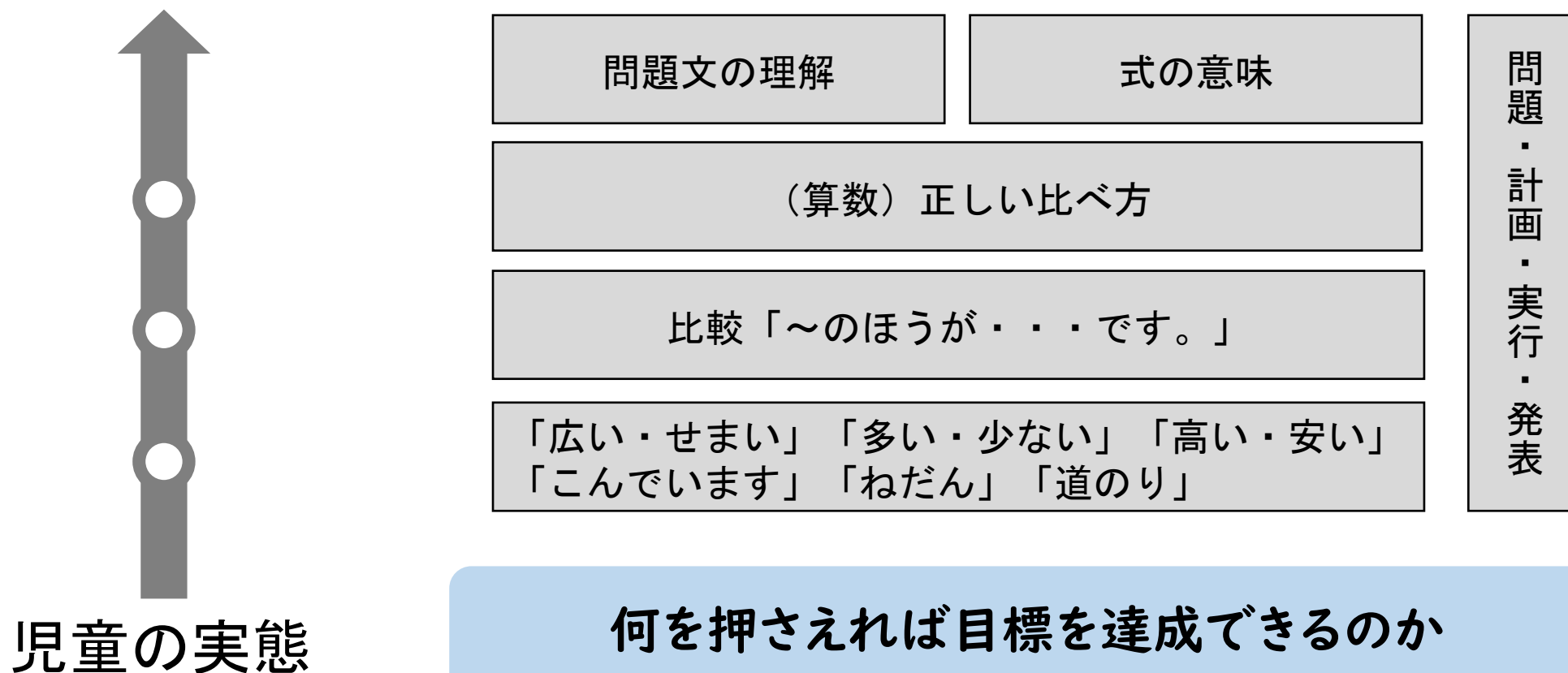
- ・ 比較「どちらのほうが～」が分かる。
- ・ 比較「～のほうが・・・です。」を使う。
- ・ 「まず・つぎに・だから」を使って考えを説明する。

安いのは・・・



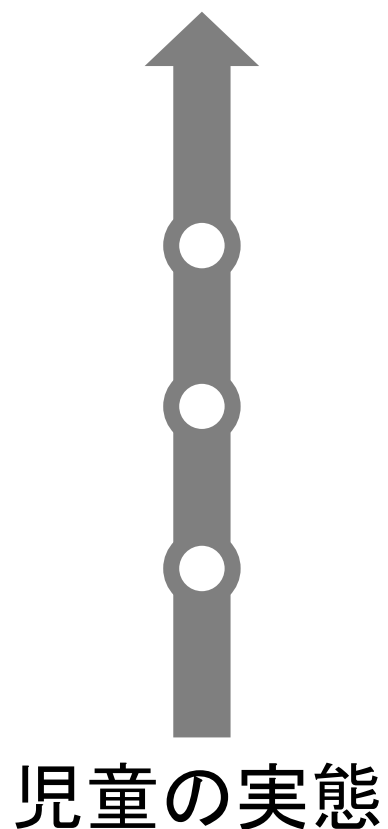
授業の組み立て

比べる・単分量あたりの大きさ



手立て

比べる・単分量あたりの大きさ



リライト・映像資料

数直線の活用

自作のワークシート

単語カード

- ・ 前時までの掲示物
- ・ 本時の活動リスト

どのように押さえれば目標を達成できるのか

本時 1あたりの大きさを比べ、考え方を説明する。

名前 ()

めあて 1あたりの大きさを比べよう。

問題を読みます

①
メートルで 135円の赤いリボンと、
メートルで 168円の青いリボンがあります。
どちらのリボンのほうがやすいでしょうか。

自分の考えを書きます

説明を書きます

まず、 をかんがえます。
赤いリボンは、(式) だから、
赤いリボンの 。
青いリボンは、(式) だから、
青いリボンの 。
つぎに、くらべます。
 のねだんは、 のほうがやすいです。
だから、 のほうがやすいです。

問題を読みます

②
お父さんの車は、ガソリン 40 L で 760 k m 走りました。
お兄さんの車は、ガソリン 35 L で 735 k m 走りました。
どちらの車のほうがよく走りますか。

自分の考えを書きます

説明を書きます

ふりかえり

学習活動

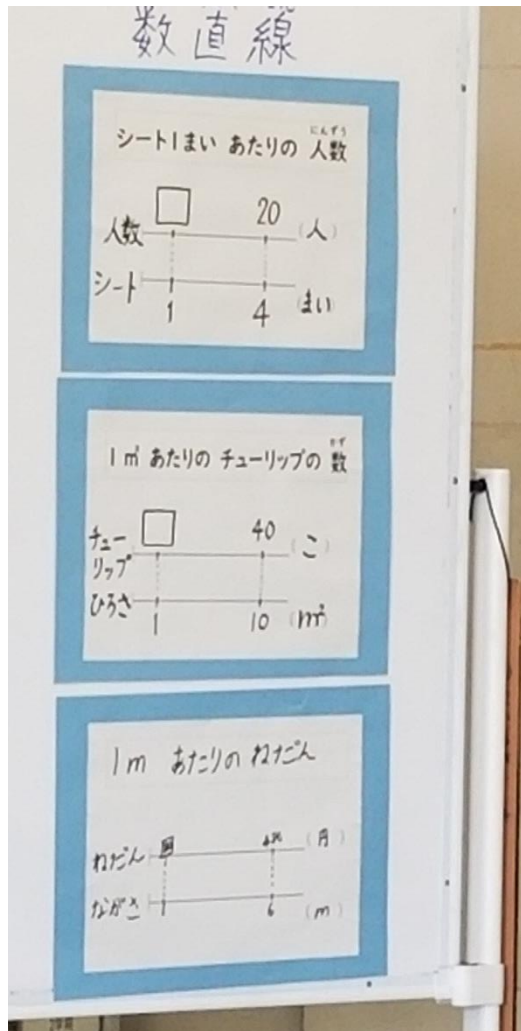
- 1 問題①を読む。
- 2 図や式で考える。
- 3 答えを求める。
- 4 説明を書く。
- 5 発表する。

- 6~10 問題②

- 11 「単位量あたりの大きさ」を理解する。

- 12 振り返り

学習の位置付けを明確にする



めあて 1あたりの ^{おお}大きさをくらべよう。

T: この前は何を使って考えましたか。

S: 数直線

T: 今日は1あたりの大きさを・・・



- ① よみます
- ② かんがえます
- ③ かきます

- ④ よみます
- ⑤ かんがえます
- ⑥ かきます
- ⑦ はっぴょうします

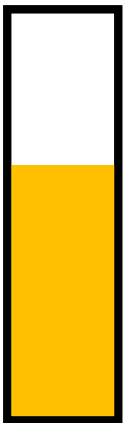
- ⑧ まとめ
ふりがえり

前時までの学習を想起させ、本時の流れを押さえる。

I C T で問題場面の理解を促す



10L



で **みちのり** はしりました

くらべます



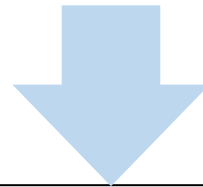
どちらの車のほうがよくはしりますか。

問題文のリライト

りょうさんのお父さんの自動車は、40Lのガソリンで760km走り、
お兄さんの自動車は、35Lで735km走りました。

ガソリンを使う量のわりに、走る道のりが長いのは、どちらの自動車ですか。

(大日本図書「たのしい算数5年」)



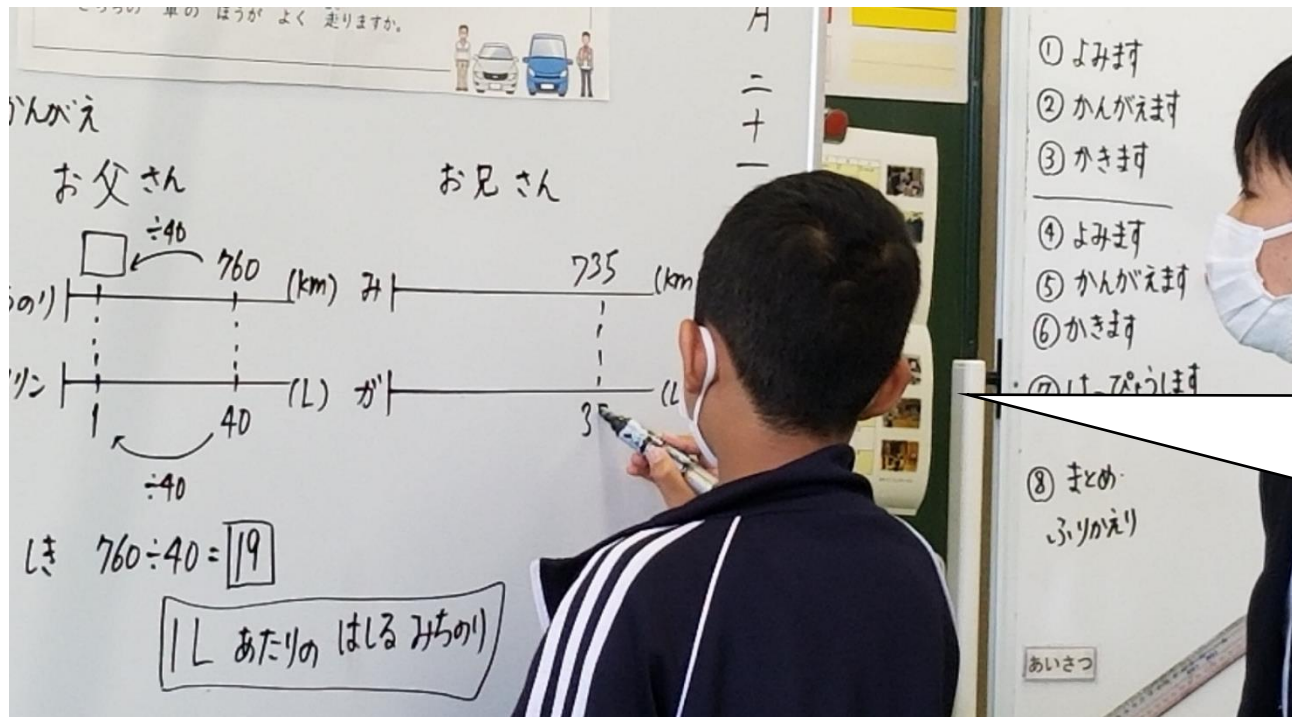
とう くるま
お父さんの車は、 ガソリン 40 L で 760 k m 走りました。

にい くるま
お兄さんの車は、 ガソリン 35 L で 735 k m 走りました。

どちらの くるま
車の ほうが よく 走りますか。

必要な情報をやさしい表現で

数直線で考え、式につなげる



S : ぼくわかります。
これ、 $\div 35$ です。
だから、これも $\div 35$ します。

思考をことば以外でも表現させる

段階を付けたワークシート

問題①穴埋め

まず、1mあたりのねだん を かんがえます。

赤いリボンは、(式) $135 \div 3 = 45$ 円 だから、
赤いリボンの 1mあたりのねだんは45円です。

青いリボンは、(式) $168 \div 4 = 42$ 円 だから、
青いリボンの 1mあたりのねだんは42円です。

つぎに、くらべます。

1mあたり の ねだんは、青 の ほうが やすいです。

だから、青のリボン の ほうが やすいです。

問題②自由記述 のほうがよくなります。

説明を書きます

まず、1Lあたりのはしるみちりをかんがえます。
おじさんの車は $760 \div 40 = 19$ だから、
1Lあたり19km はしりました。
おじさんの車は $735 \div 35 = 21$ だから、
1Lあたり21km はしりました。つぎに、くらべます
1Lあたりの はしるみちりはおじさんのほうがながい
です。だからおじさんの車のほうがよくなります。

「まず・つぎに・だから」
文の出だし
説明の構成の仕方

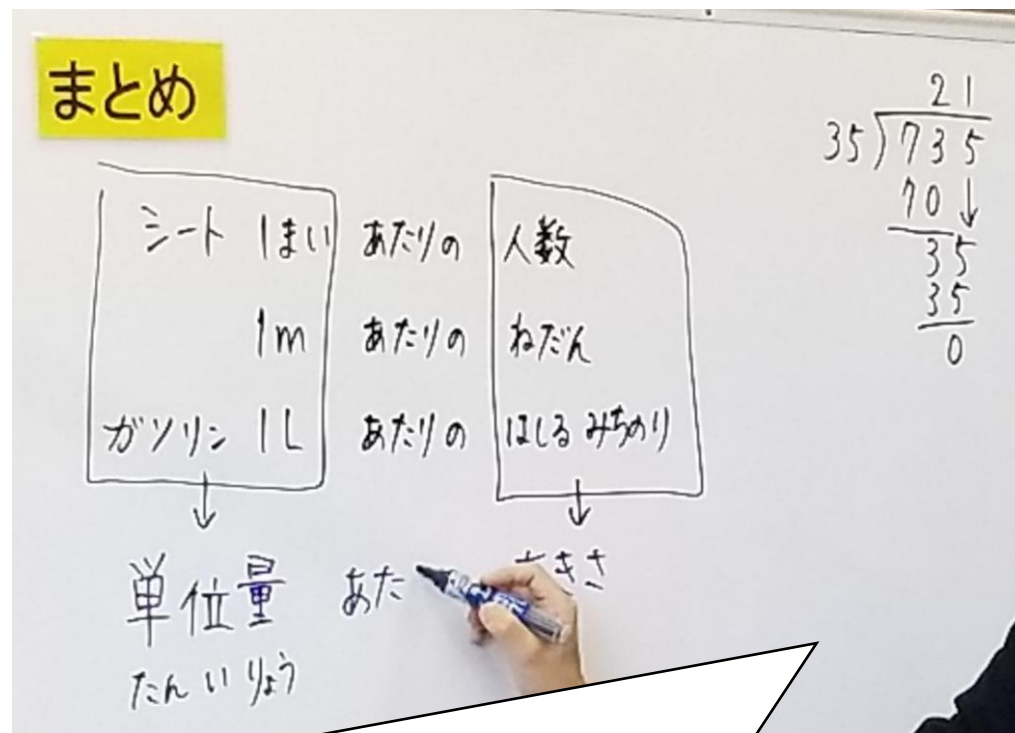
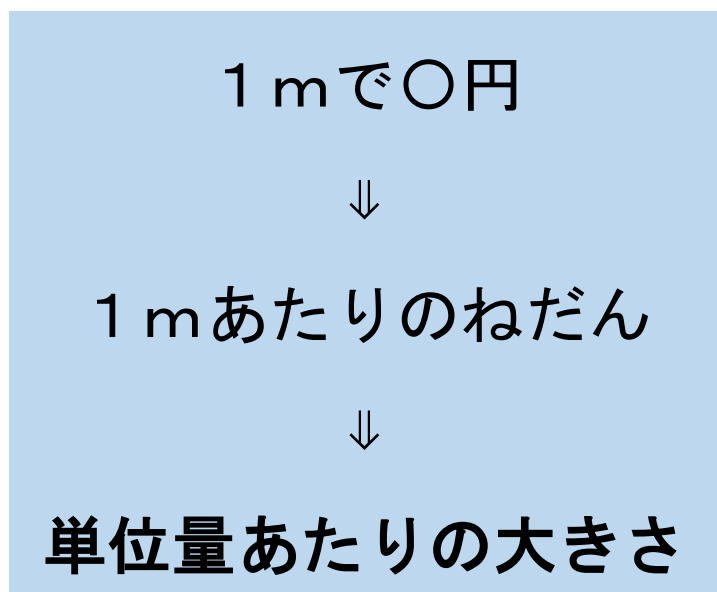
支援→自力を意識

問題①を参考にして
自分で書けるような形式

参観している先生に向けて



算数の概念「単位量あたりの大きさ」を押さえる



今日は算数の新しい言い方を教えるよ。**かっこいいことば**だよ。

事例紹介②

2年生 JSL国語科

「この人をしょうかいします」



授業の概要

令和4年2月

2年生 JSL国語科「この人をしょうかいします」（東京書籍）

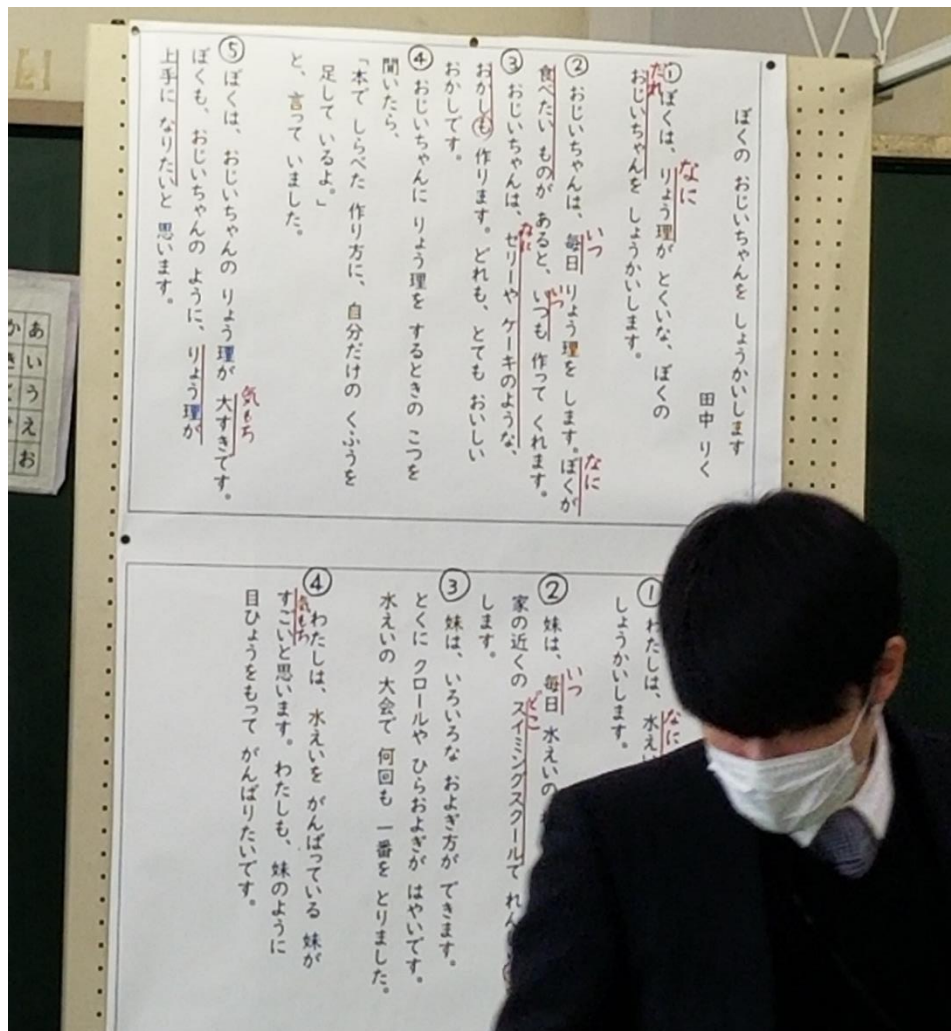
児童の実態（児童5人）

- ・ 全員日本育ちだが、読む・書く・教科の理解度は差が大きい。
- ・ 普段は個別指導を行っている。

第4時の内容

- ・ 家族など身近な人のことについて紹介文を書き、発表する。
- ・ 「始め—中—終わり」の簡単な構成、事柄ごとにまとめて書く。

モデル文を2つ読み比べ、共通点を見付ける



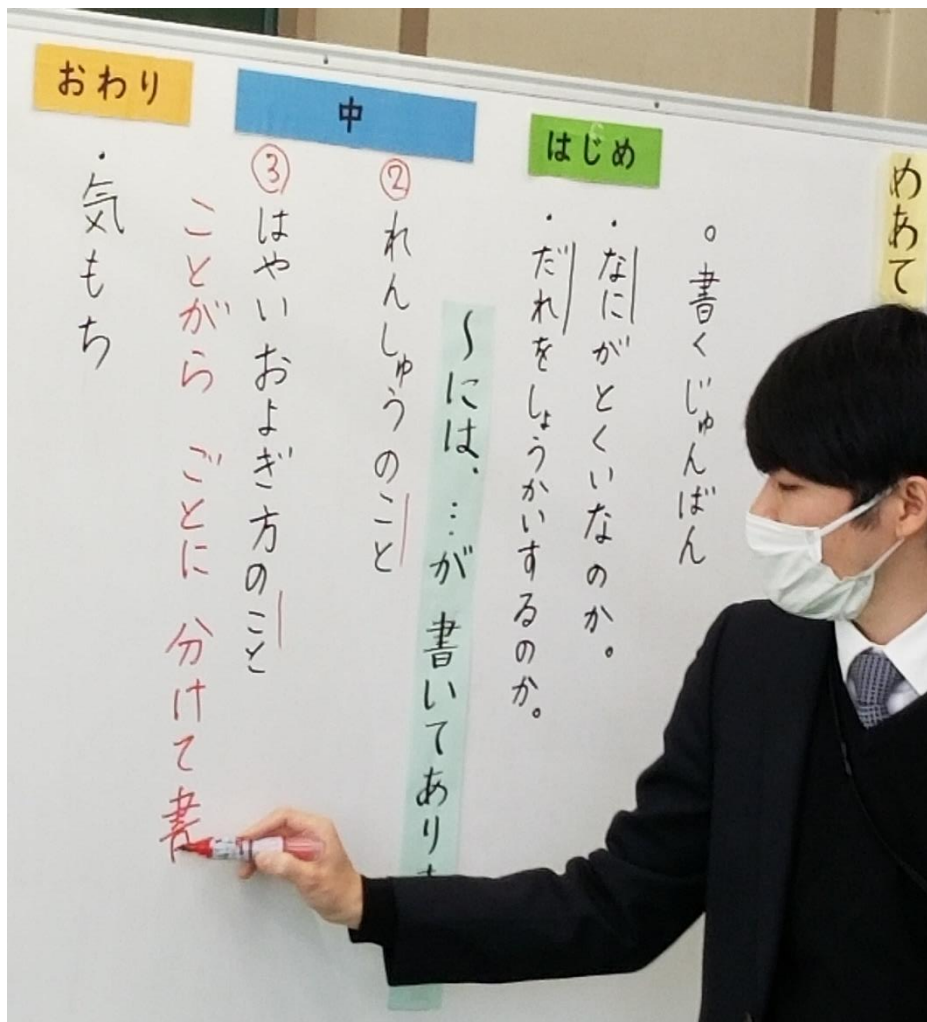
T : 2つの紹介文を見てください。
「始め」にはどんなことが書いてありますか。

S : 何がとくいなのかが書いてある。

S : だれをしょうかいするのかが書いてある。

内容の理解から構成の理解へつなげる

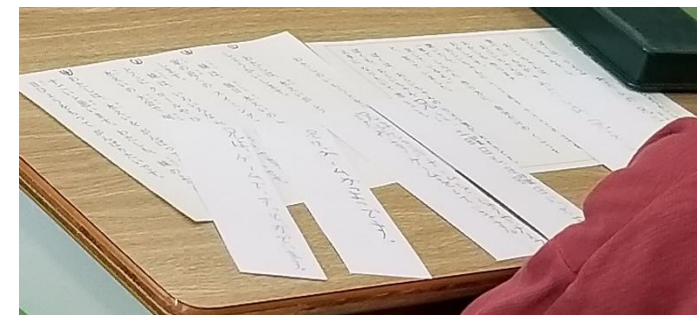
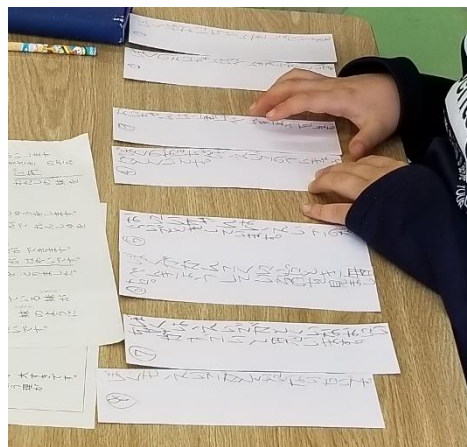
短冊を並べ替えて構成を考える



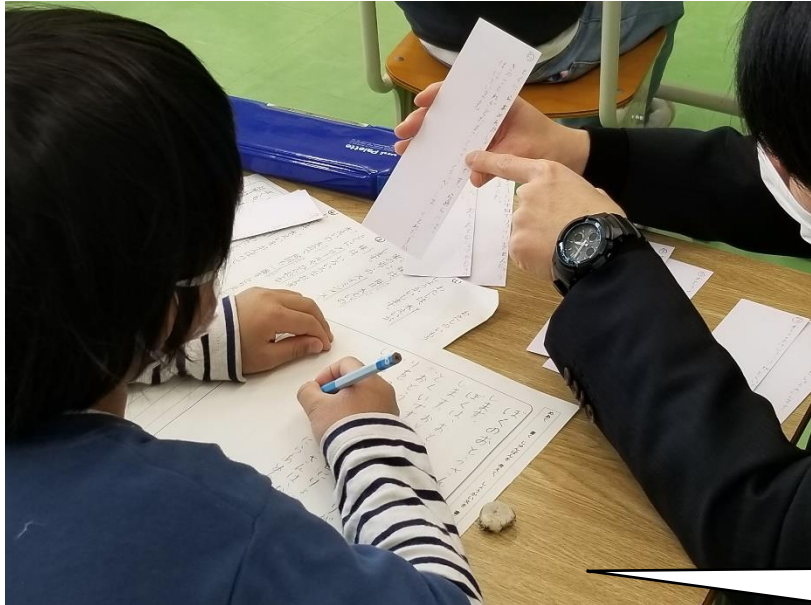
T : 中の②を見ましょう。
②には、何のことが書いてありますか。
繰り返して出てくる言葉です。

S : ②には、れんしゅうのことが書いてあります。

T : 「ことごとに分けて書く」といいます。
みんなも、事柄ごとに分けて並べましょう。

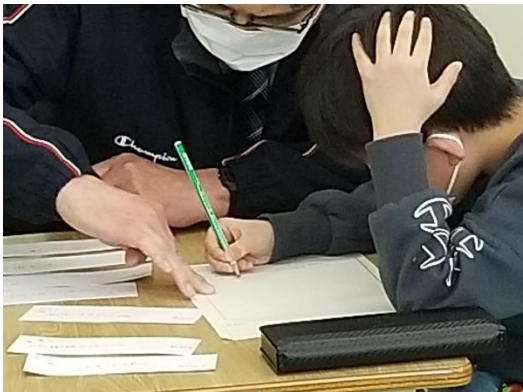


「やりとり」から「書く」ことへ



T: “らあめんには きのこと ねぎとたまごと
やさいと きゃべつと おにくと れたすが
はいってます”と書いたんだね。
ネギとキャベツとレタスは野菜だけど…

S: そうか。じゃあ、やさいを書かないようにする。
上位語と下位語の關係に気付いた



「書く」などの個別の活動の際は、
T2・T3の教師も参加し、
やりとりをしながら書きました。

参観している先生たちに発表し、ほめてもらう



姉のクラスの先生・
担任の先生へ



元担任の先生へ



6年生の先生へ

先生たちに誰の発表を聞くか
事前にお問い合わせをした。

承認を受けることで自信をもつ

事例紹介は以上です。ありがとうございました。